

平成24年3月期 第2四半期決算説明会

2011年 11月2日 (水) 東京

メック株式会社

証券CODE:4971

URL <http://www.mec-co.com/>

平成24年3月期 第2四半期業績のポイント

1)		平成23年3月期 第2四半期	平成24年3月期 第2四半期	対前年比
	売上高	35億69百万円	32億96百万円	7.7%減
	営業利益	5億35百万円	4億74百万円	11.3%減
	経常利益	4億66百万円	4億14百万円	11.1%減
	純利益または純損失()	3億40百万円	19百万円	—
2)	薬品売上高 売上高に占める割合	31億35百万円 87.8%	28億24百万円 85.7%	9.9%減
3)	海外売上げ高比率	46.0%	49.0% (注)	
4)	CZの売上げ高 薬品売上高に占める割合	17億3百万円 54.3%	15億77百万円 55.9%	7.4%減

(注)当社薬品海外使用分の国内代理店販売を海外売上高に加算した場合の比率は 56.7%。

平成24年3月期 第2四半期業績のポイント

	平成24年3月期 第2四半期(予想)	平成24年3月期 第2四半期(実績)	予実比
売上高	32億00百万円	32億96百万円	3.0%増
営業利益	3億50百万円	4億74百万円	35.5%増
経常利益	3億27百万円	4億14百万円	26.5%増
純損失()	91百万円	19百万円	—

平成24年3月期 通期連結業績予想

	平成23年3月期	平成24年3月期	前期比
売上高	70億49百万円	66億50百万円	5.7%減
営業利益	9億19百万円	8億68百万円	5.5%減
経常利益	8億77百万円	8億23百万円	6.2%減
純利益	1億36百万円	3億 1百万円	121.3%増

平成23年6月29日発表の予想から変更ございません。

連結損益計算書(要約) 第2四半期

単位:百万円

科 目	平成23年3月期 第2四半期		平成24年3月期 第2四半期		増 減	
	金 額	比率	金 額	比率	金 額	比率
売上高	3,569	100.0	3,296	100.0	273	
売上原価	1,493	41.8	1,320	40.1	173	1.7
売上総利益	2,075	58.2	1,975	59.9	99	1.7
販売費及び一般管理費	1,539	43.1	1,500	45.5	39	2.4
営業利益	535	15.0	474	14.4	60	0.6
営業外収益	22	0.6	21	0.6	0	0.0
営業外費用	91	2.6	81	2.5	10	0.1
経常利益	466	13.1	414	12.6	51	0.5
特別利益	2	0.1	4	0.1	1	0.0
特別損失	7	0.2	3	0.1	3	0.1
税前利益	461	12.9	415	12.6	46	0.3
法人税等	121	3.4	434	13.2	312	9.8
四半期純利益または純損失()	340	9.5	19		359	

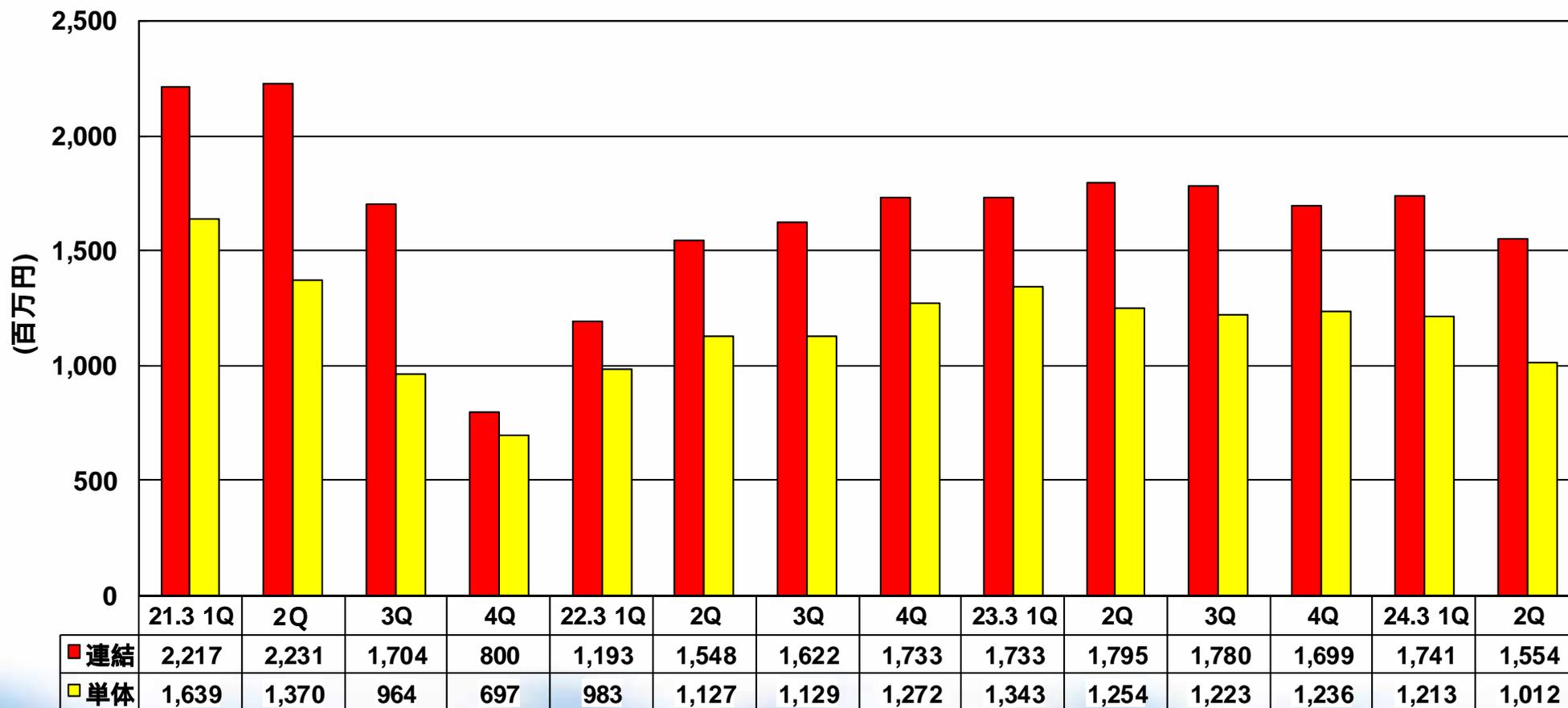
連結損益計算書(要約) 通期

単位:百万円

科 目	平成23年3月期		平成24年3月期(予想)		増 減	
	金 額	比率	金 額	比率	金 額	比率
売上高	7,049	100.0	6,650	100.0	399	
売上原価	2,945	41.8	2,564	38.6	381	3.2
売上総利益	4,104	58.2	4,085	61.4	18	3.2
販売費及び一般管理費	3,184	45.2	3,217	48.4	32	3.2
営業利益	919	13.0	868	13.1	51	0.1
営業外収益	59	0.9	31	0.5	28	0.4
営業外費用	102	1.4	76	1.1	26	0.3
経常利益	877	12.4	823	12.4	54	0.0
特別利益	3	0.0	10	0.2	7	0.2
特別損失	536	7.6	7	0.1	528	7.5
税前利益	344	4.9	827	12.4	482	7.5
法人税等	207	2.9	525	7.9	317	5.0
当期純利益	136	1.9	301	4.5	164	2.6

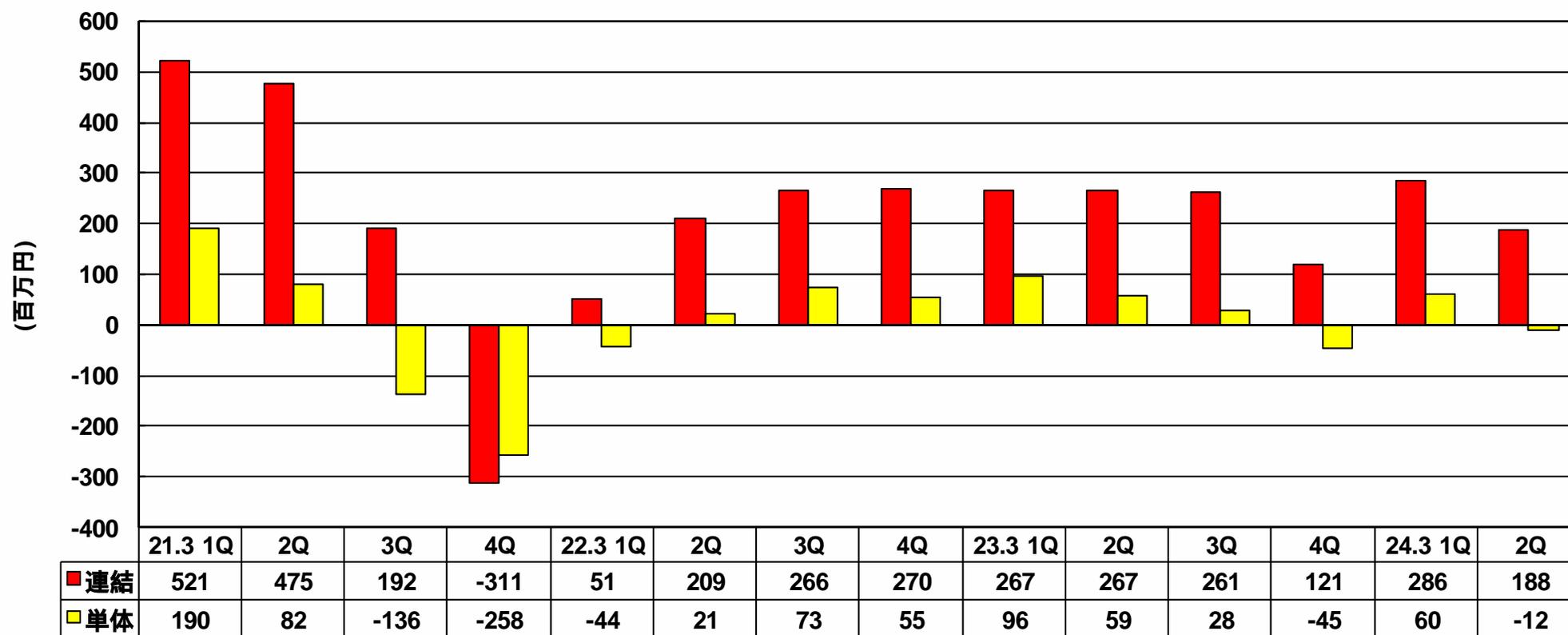
四半期 売上高推移

前年同期に比べ減収だが、平成23年6月29日発表の計画値を42百万円上回る。



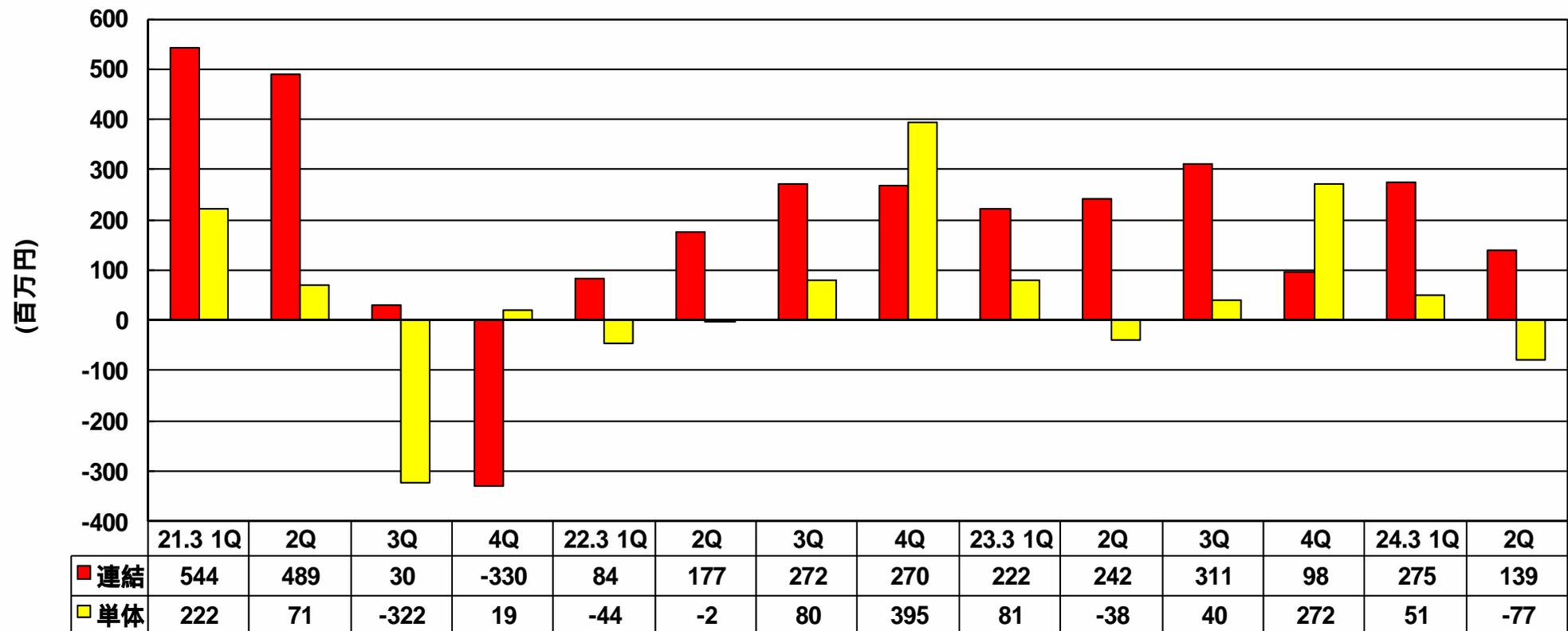
四半期 営業利益推移

前年同期に比べ減益だが、平成23年6月29日発表の計画値を52百万円上回る。



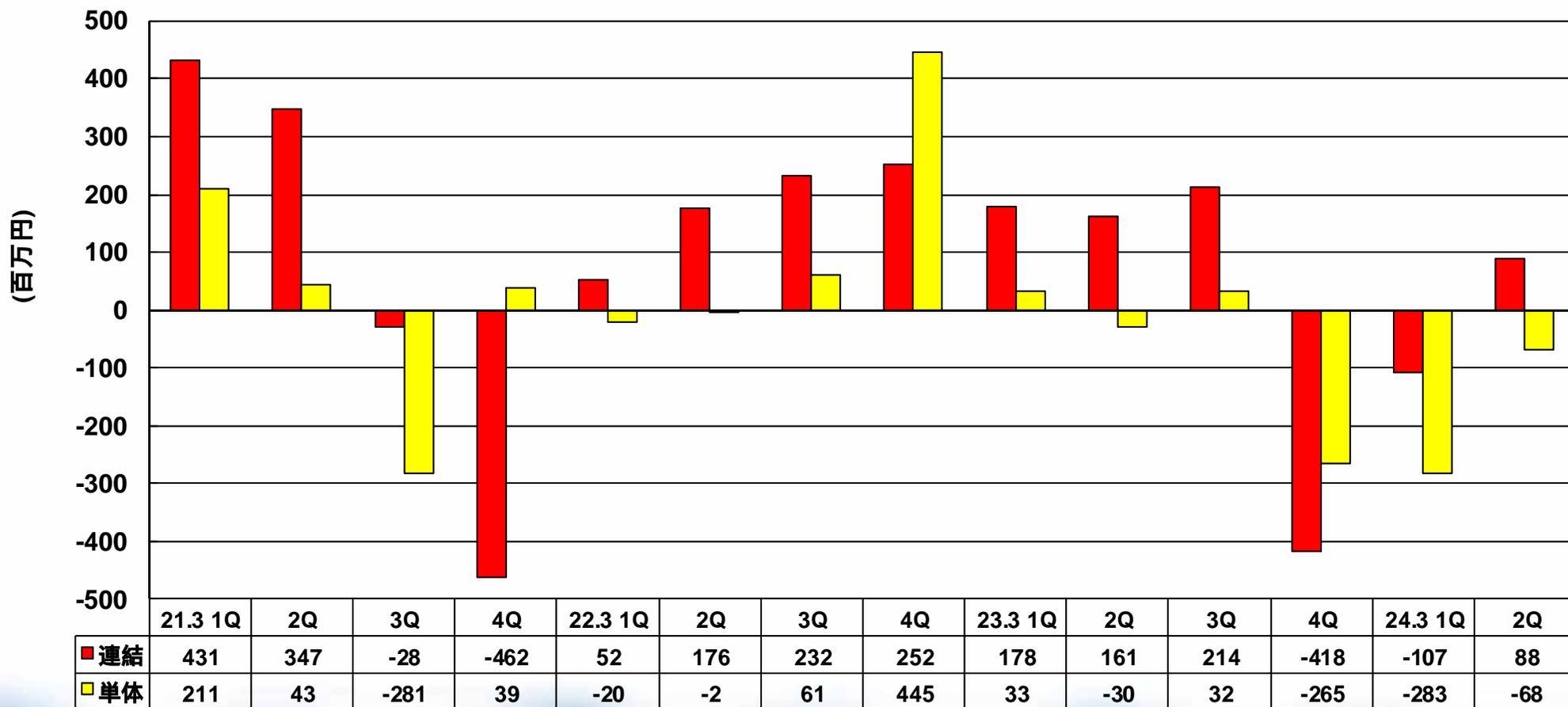
四半期 経常利益推移

前年同期に比べ減益だが、平成23年6月29日発表の計画値を7百万円上回る。



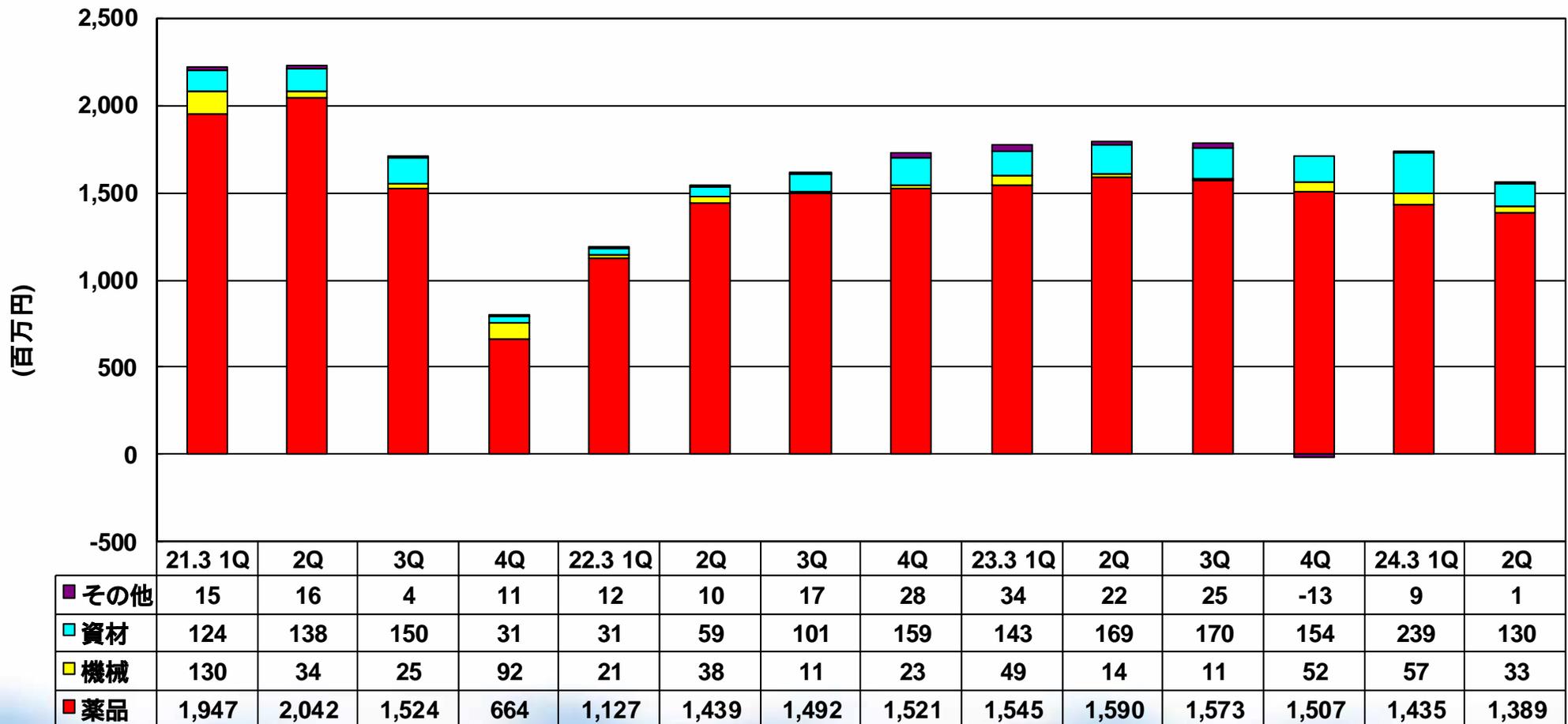
四半期 純利益推移

前年同期に比べ減益だが、平成23年6月29日発表の計画値を28百万円上回る。



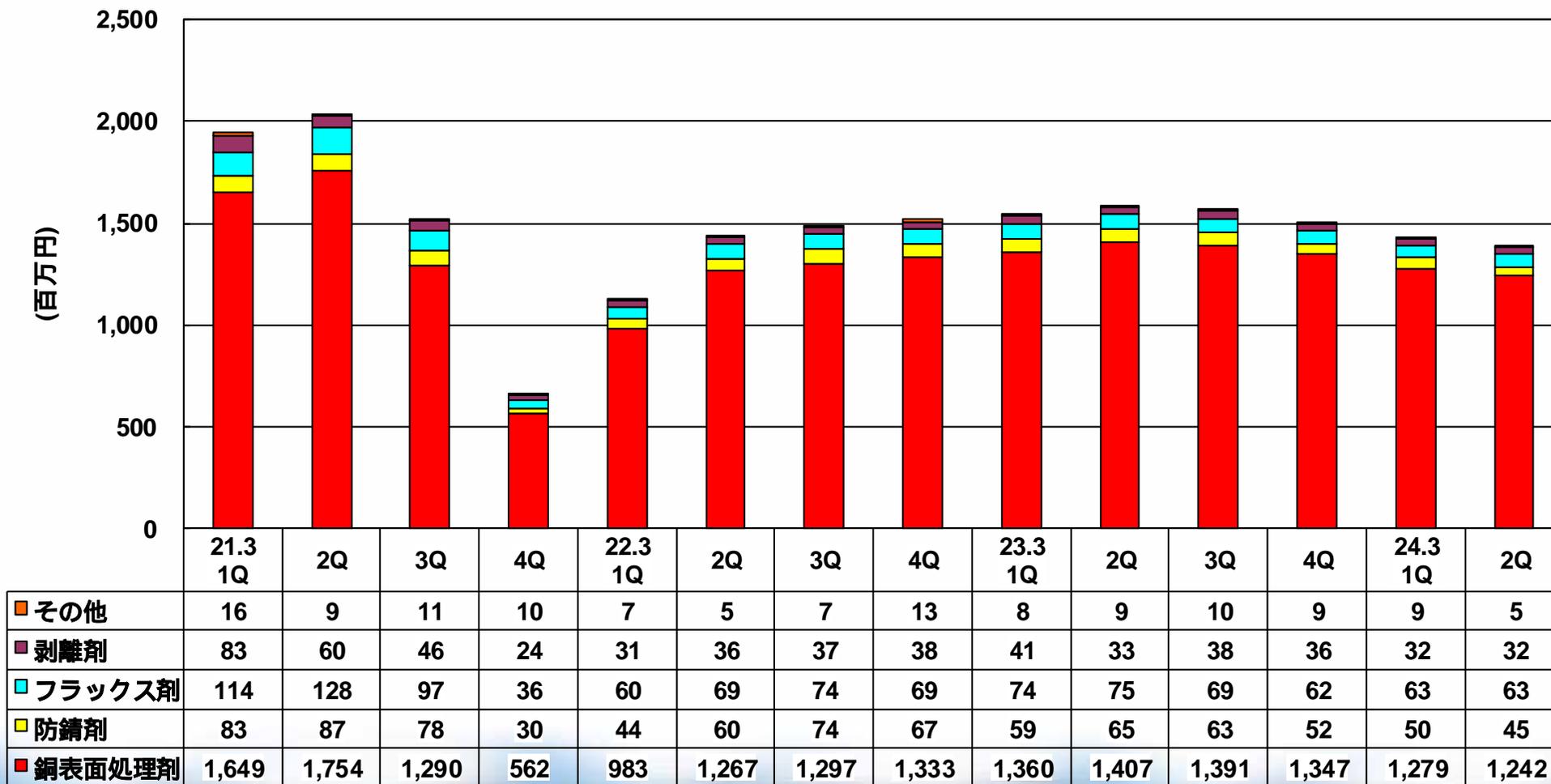
品種別四半期推移 連結

資材の減収は、おり込み済み。薬品はPCが不調のなか、微減に留める。

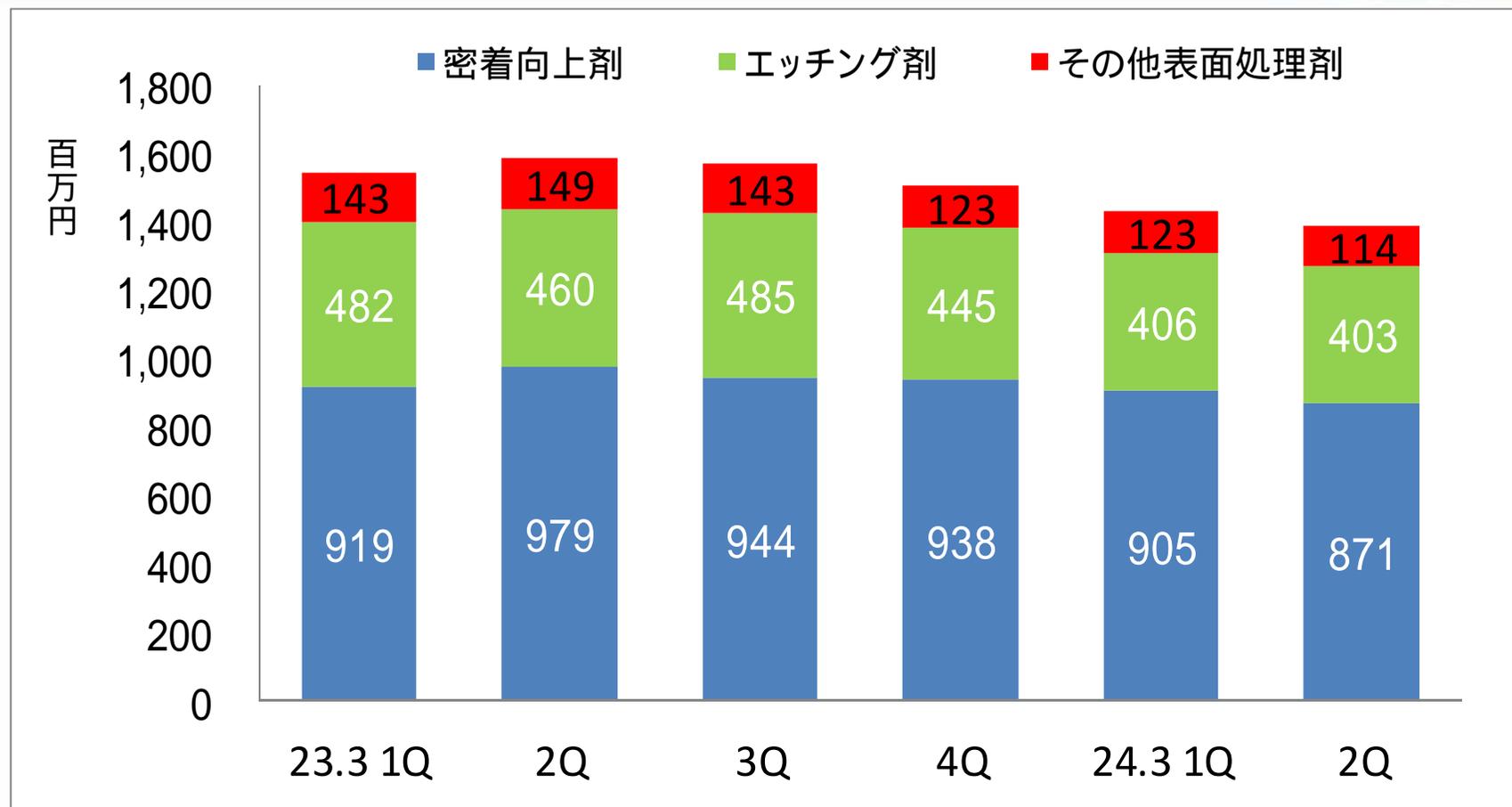


薬品別四半期推移 連結

PCの不調のなか、その他用途での増加要因があり、全体的には微減に留める。

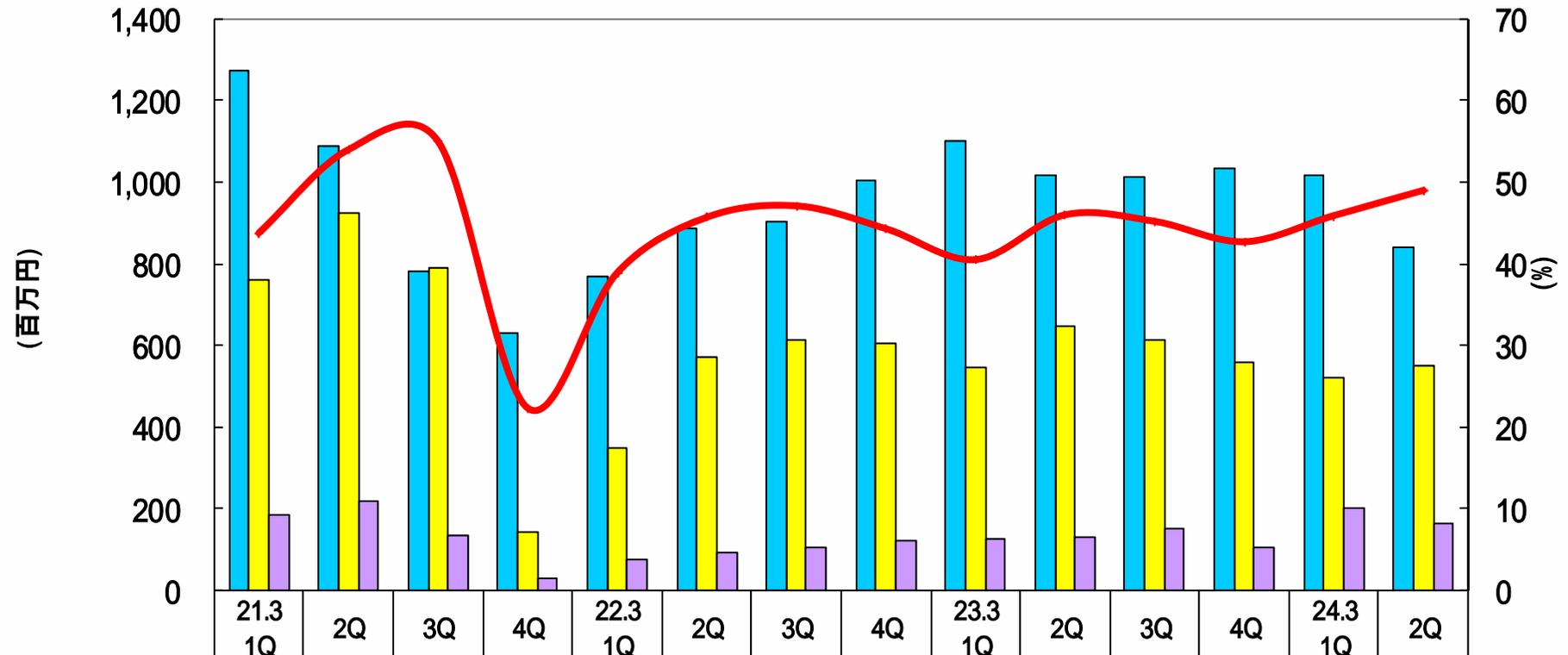


薬品分類の改編について



地域セグメント別売上高推移と海外比率

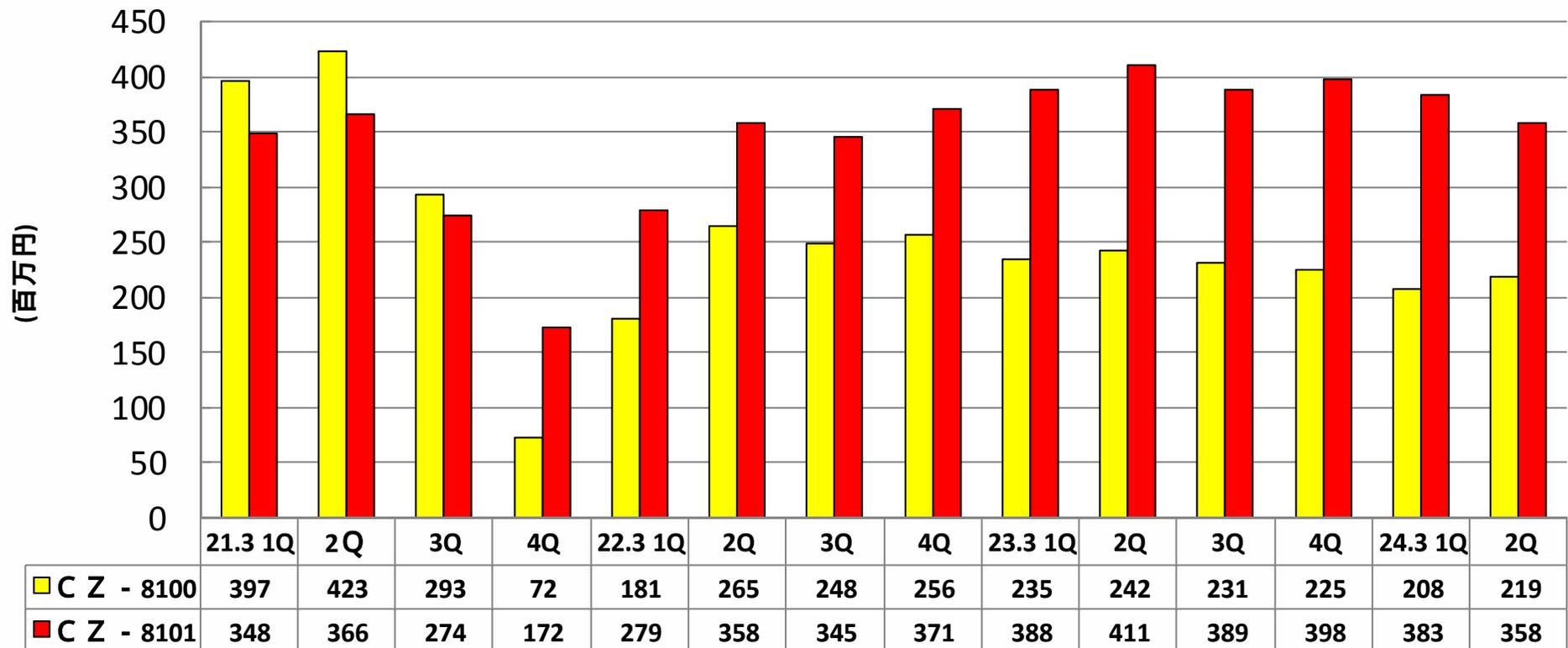
東日本大震災の影響等による日本の減収に伴い、海外売上高比率が増加。



■ 日本	1,273	1,089	781	630	768	887	904	1,006	1,102	1,019	1,014	1,034	1,015	840
■ アジア	762	926	789	140	350	569	612	605	545	647	614	560	522	548
■ 欧州	182	216	133	29	74	91	105	121	124	129	152	104	202	165
— 海外売上高比率	43.8	54.0	55.0	22.3	38.9	45.7	47.1	44.3	40.5	46.0	45.2	42.7	45.9	49.0

CZシリーズ売上高推移

PCのFCPKG向け薬品であるCZ - 8101は減少したものの、他のPKG向け薬品であるCZ - 8100は、スマートフォン向け用途が増加。



今後の計画

1. PKGからマザーボードまで
メック技術の風上から風下までの浸透を図る
2. HDI基板の“量産用新プロセス”の実用化
3. 銅表面処理をベースに金属表面処理へ
電子基板、電池など各種用途への適用を目指す